

第59回 宇宙科学・探査小委員会 議事要旨

1. 日時：令和5年12月5日（火） 9：00－11：00

2. 場所：宇宙開発戦略推進事務局大会議室

3. 出席者

(1) 委員

常田座長、大島委員、関委員、永田委員、山崎委員

(2) 事務局（宇宙開発戦略推進事務局）

風木局長、渡邊審議官、松本参事官

(3) 関係省庁等

文部科学省研究開発局宇宙開発利用課

上田課長

鈴木室長

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）

佐々木理事

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所（ISAS）

國中所長

藤本副所長

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構国際宇宙探査センター

山中国際探査センター長

小川部長

川勝プロジェクトマネージャ

東京大学

杉田教授

国立天文台

野村教授

4. 議事要旨

(1) 宇宙技術戦略（宇宙科学・探査）に関する考え方（案）について

令和5年度内の策定を進めている、「宇宙技術戦略」について、宇宙科学・探査分野の考え方の議論を、前回に続いて行いました。

委員からは、以下のような意見があった。

（○：意見等）

○技術的優位性についてどこが評価されているのか整理すべきではないか

○年度末の宇宙技術戦略の策定に向けて、それぞれの技術について優先順位や優位性、推進していく主体について引き続き深掘りを進めるべき。

(2) 国際宇宙ステーション（ISS）のこれまでの成果と今後の活用の在り方について

前回に引き続き、国際宇宙ステーションのこれまでの成果と今後の活用の在り方について、JAXAより説明があった。

委員から、工程表について以下のような意見があった。

（○：意見等）

○2030以降の低軌道の商用利用や宇宙科学利用に向けた道筋はどうなっているか。

○ISSについては継続的に本委員会で議論していきたい。

(3) 月面の科学について

月面の科学について、資料3に沿って、JAXAから説明があった。

委員から、工程表について以下のような意見があった。

(○：意見等)

○月面科学の推進にあたって、国際宇宙探査センターや ISAS の連携等、オール JAXA で体制整備、検討を進めてほしい。

○また、JAXA 外のより広いコミュニティを巻き込む取組をおこなってほしい。

(4) NASA Habitable Worlds Observatory への日本の参加体制について

NASA Habitable Worlds Observatory への日本の参加体制について、国立天文台ハワイ観測所の宮崎所長より、資料4に沿って、説明があった。

委員から、工程表について以下のような意見があった。

(○：意見等)

○日本の強みを生かして HWO への貢献を考えてほしい。また、そのためのバックアップ体制をしっかりとってほしい。

以 上